

文化を旅するリレートーク

司会
綿引かおる
(フリーアナウンサー)

第7弾 再び、民俗芸能を旅する

秋田市無形民俗文化財に指定されている山谷番楽。
小・中学生による実演を交えながら、民俗芸能の伝承について語ります。



かまだ くらよし
鎌田 庫喜
(秋田市山谷番楽保存会会長)

実演もあり

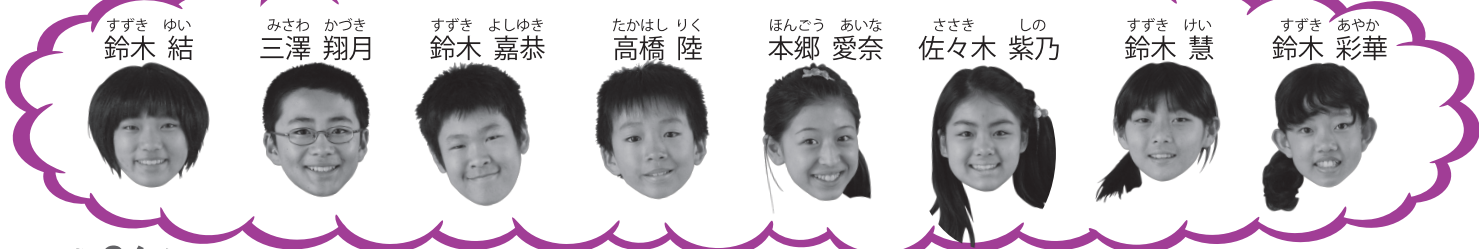
旧山谷小学校で児童による山谷番楽の伝承活動が始まった頃、伝承活動講師となり30年間指導に当たる。閉校後も保存会会長として、番楽の舞を伝承。地元太平で子どもたちへ熱心に指導している。



まるたに ひとみ
丸谷 仁美
(秋田県立博物館 主査(兼)学芸主事)

県文化交流事業で平成20年度に中国甘粛省に派遣され、同省博物館で展示方法、遺物修復などを実習し、博物館運営の考え方等を学ぶ。平成22年～24年度に県文化財保護室で民俗芸能大会の運営を手がける。

山谷番楽保存会の秋田の子どもたち



すずき ゆい
鈴木 結

みさわ かつき
三澤 翔月

すずき よしゆき
鈴木 嘉恭

たかはし りく
高橋 陸

ほんごう あいな
本郷 愛奈

ささき しの
佐々木 紫乃

すずき けい
鈴木 慧

すずき あやか
鈴木 彩華

平成 26 年

8 月 17 日 日 開催 | 午後 1:00~2:30

会場：国民文化祭サテライトセンター【フォンテAKITA 6階】

昨年の12月から始まった「文化を旅するリレートーク」。各分野の専門家が秋田の文化を語り「文化の旅」へといざないます。

第29回 国民文化祭・あきた2014
平成26年10月4日(土)~11月3日(月・祝)



お問合せ：TEL 018-884-7341
(国民文化祭サテライトセンター)

山谷番楽とは

■山谷番楽とは

秋田市太平山谷字野田を中心とした山谷地区に伝わる伝統芸能です。

中世末～近世初頭に、太平山信仰にかかわる修験者が伝えたといわれますが、起源の詳細は不明です。生面神社のご神体である15面を用いて舞われ、かつては神社の祭礼に演じられたほか、盆前後に近郊近在まで舞って歩いたそうです。

(「秋田の祭り・行事」改訂版 秋田県教育委員会編・秋田文化出版より)

番楽には、舞人の他に、太鼓打ち、鐘打ち、拍子木などの鳴り物の役割があります。以前は表裏24演目ありましたが、現在は露払い・神舞(じんまい)・三番叟(さんばそう)・五条の橋の4演目が伝承されています。

■山谷番楽の現在

昭和42年秋田市無形民俗文化財に指定されたことをきっかけに、番楽保存会がつけられました。地域の伝承講師の人々、東部公民館の協力により伝承活動が進められてきましたが、山谷小学校閉校後は太平小学校・太平中学校の子どもたちが練習を重ね、地域の祭りや秋田市民俗芸能発表会に出演しています。



第29回 国民文化祭・あきた2014

1か月前プレイベントのお知らせ

9月4日(木)で、国民文化祭開催までいよいよあと1か月となります。
県内2か所で「1か月前プレイベント」を開催しますので、皆さんぜひお越しください♪

開催日・場所

平成26年9月6日(土) イオンモール大曲

7日(日) いくとく大館ショッピングセンター

